

<浜松市の教育について>

■問1 浜松の子供にとって課題だと思う点 (n=210 2つまで)

	(%)	若者	子育て	中高年	高齢者
特別な配慮が必要な子供への支援	13.3%	特別な配慮が必要な子供への支援	11.9	12.7	14.3
登下校時における安全確保	21.0%	登下校時における安全確保	22.0	21.1	14.3
ルールやモラルを守る規範意識	33.8%	ルールやモラルを守る規範意識	28.8	32.4	35.7
いじめ問題	27.1%	いじめ問題	32.2	21.1	33.3
家庭の教育力	6.2%	家庭の教育力	10.2	2.8	9.5
学校・家庭・地域のつながり	17.1%	学校・家庭・地域のつながり	10.2	16.9	7.1
児童虐待	3.3%	児童虐待	3.4	-	9.5
家庭経済力の格差	10.0%	家庭経済力の格差	13.6	8.5	9.5
教員の資質・能力	20.0%	教員の資質・能力	15.3	22.5	19.0
教員の不足	12.9%	教員の不足	18.6	11.3	11.9
その他	2.4%	その他	1.7	4.2	2.4
分からぬ	7.1%	分からぬ	10.2	5.6	7.1
無回答	5.2%	無回答	1.7	9.9	7.1

- 浜松の子供にとって課題だと思う点については、「ルールやモラルを守る規範意識」が約3割と最も多い回答となっています。
- 世代別にみると、若者では「いじめ問題」が、子育て・中高年・高齢者では「ルールやモラルを守る規範意識」が最も多い回答となっています。

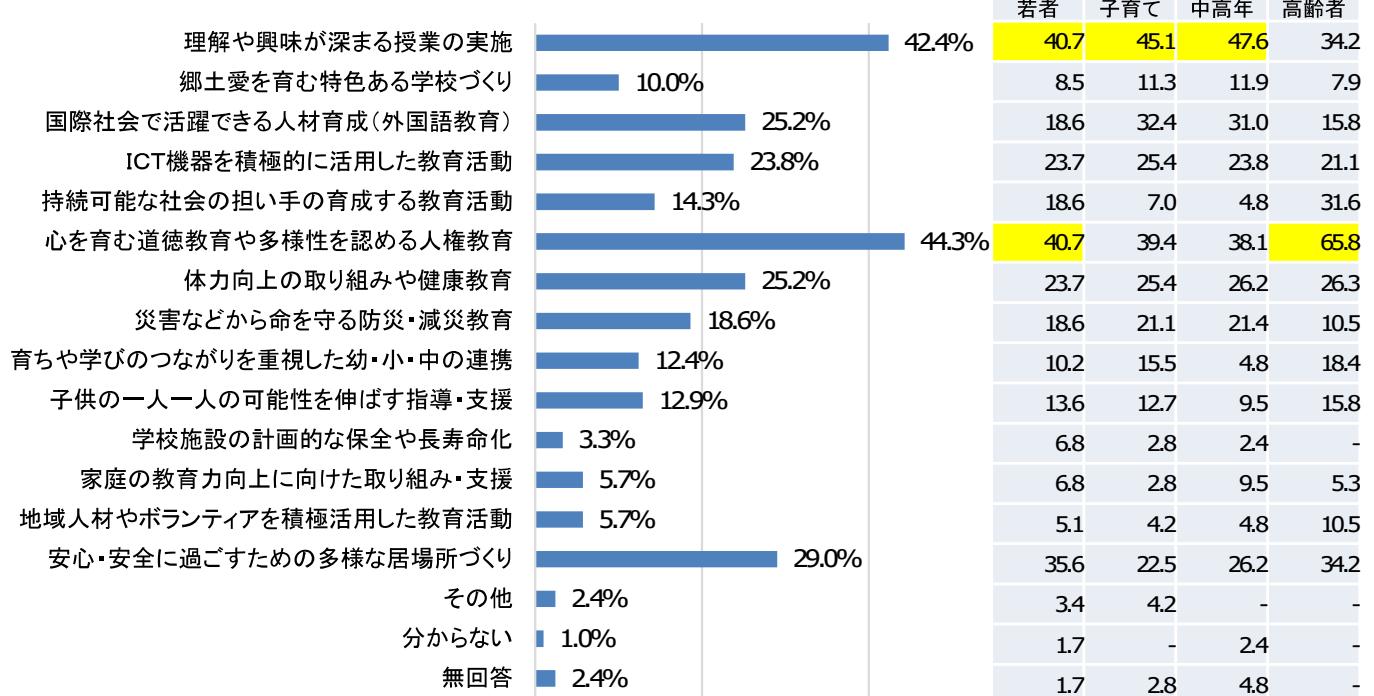
■問2 浜松の子供たちにどのような子供に育ってほしいと思うか

(n=210 2つまで)

	(%)	若者	子育て	中高年	高齢者
自分らしさをもっている	28.1%	自分らしさをもっている	15.3	38.0	31.0
夢や希望をもっている	35.7%	夢や希望をもっている	39.0	28.2	35.7
郷土を誇りに思い愛している	13.8%	郷土を誇りに思い愛している	11.9	15.5	11.9
失敗を恐れず挑戦できる	17.1%	失敗を恐れず挑戦できる	15.3	16.9	14.3
確かな学力がある	7.6%	確かな学力がある	5.1	12.7	9.5
最後までやり遂げられる	9.5%	最後までやり遂げられる	15.3	4.2	7.1
ICT機器を適切に活用できる	4.3%	ICT機器を適切に活用できる	5.1	4.2	7.1
自他を尊重し多様性を認められる	34.3%	自他を尊重し多様性を認められる	45.8	32.4	23.8
心身ともに健康である	37.1%	心身ともに健康である	33.9	32.4	42.9
その他	1.0%	その他	1.7	1.4	-
分からぬ	1.4%	分からぬ	1.7	1.4	2.4
無回答	2.9%	無回答	1.7	4.2	4.8

- 浜松の子供たちにどのような子供に育ってほしいと思うかについては、「心身ともに健康である」が約4割と最も多い回答となっています。
- 世代別にみると、若者では「自他を尊重し多様性を認められる」が、子育てでは「自分らしさをもっている」が、中高年・高齢者では「心身ともに健康である」が最も多い回答となっています(高齢者では「夢や希望をもっている」も同率)。

■問3 今後、浜松市が取り組む教育施策で重要なと思うもの

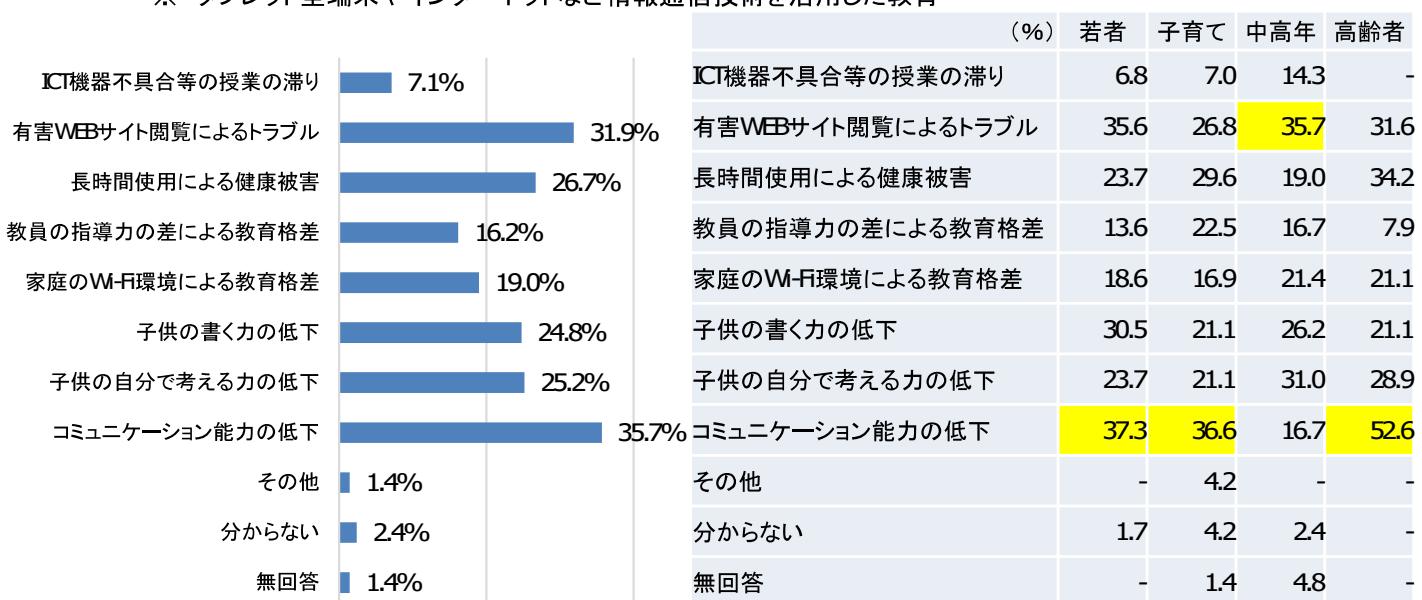


- 今後、浜松市が取り組む教育施策で重要なと思うものについては、「心を育む道德教育や多様性を認める人権教育」が約4割と最も多い回答となっています。
- 世代別にみると、若者・高齢者では「心を育む道德教育や多様性を認める人権教育」が、子育て・中高年では「理解や興味が深まる授業の実施」が最も多い回答となっています(若者では「理解や興味が深まる授業の実施」も同率)。

■問4 ICT教育※を推進する際の心配や配慮すべき点

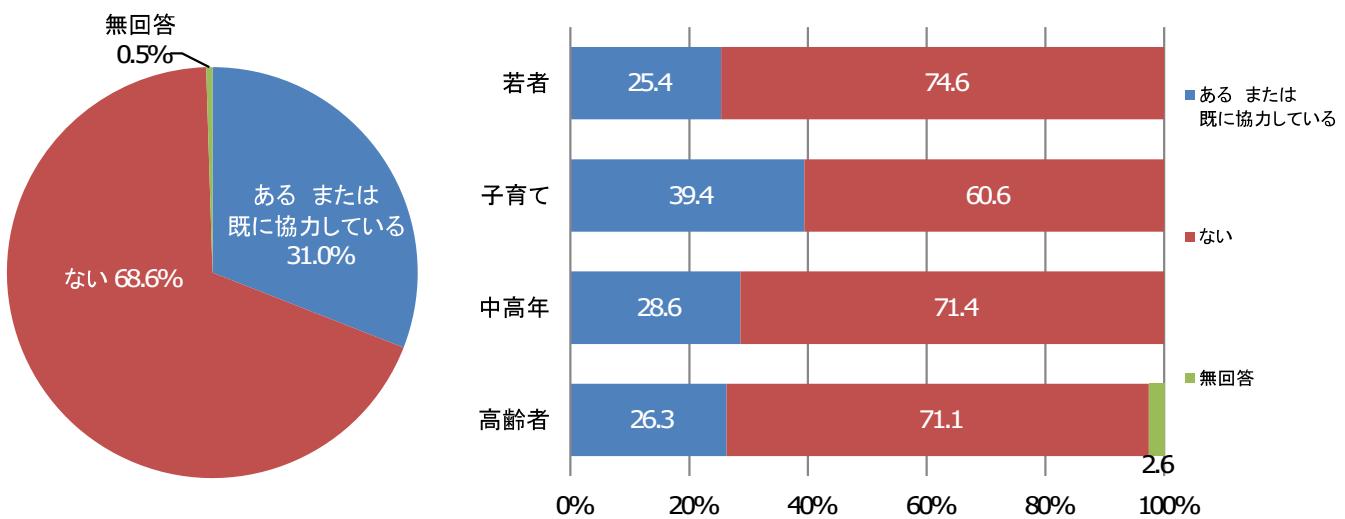
(n=210 2つまで)

※ タブレット型端末やインターネットなど情報通信技術を活用した教育



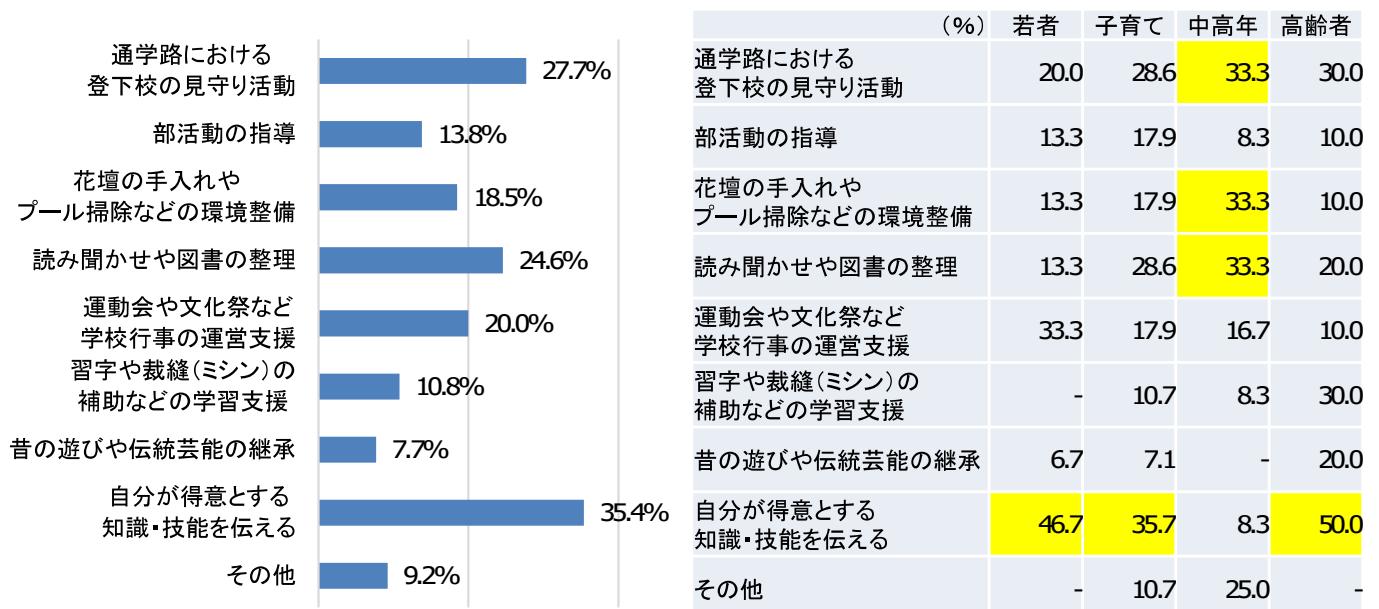
- ICT教育を推進する際の心配や配慮すべき点については、「コミュニケーション能力の低下」が約4割と最も多い回答となっています。
- 世代別にみると、若者・子育て・高齢者では「コミュニケーション能力の低下」が、中高年では「有害WEBサイト閲覧によるトラブル」が最も多い回答となっています。

■問5 地域の学校に協力してみたいこと (n=210)



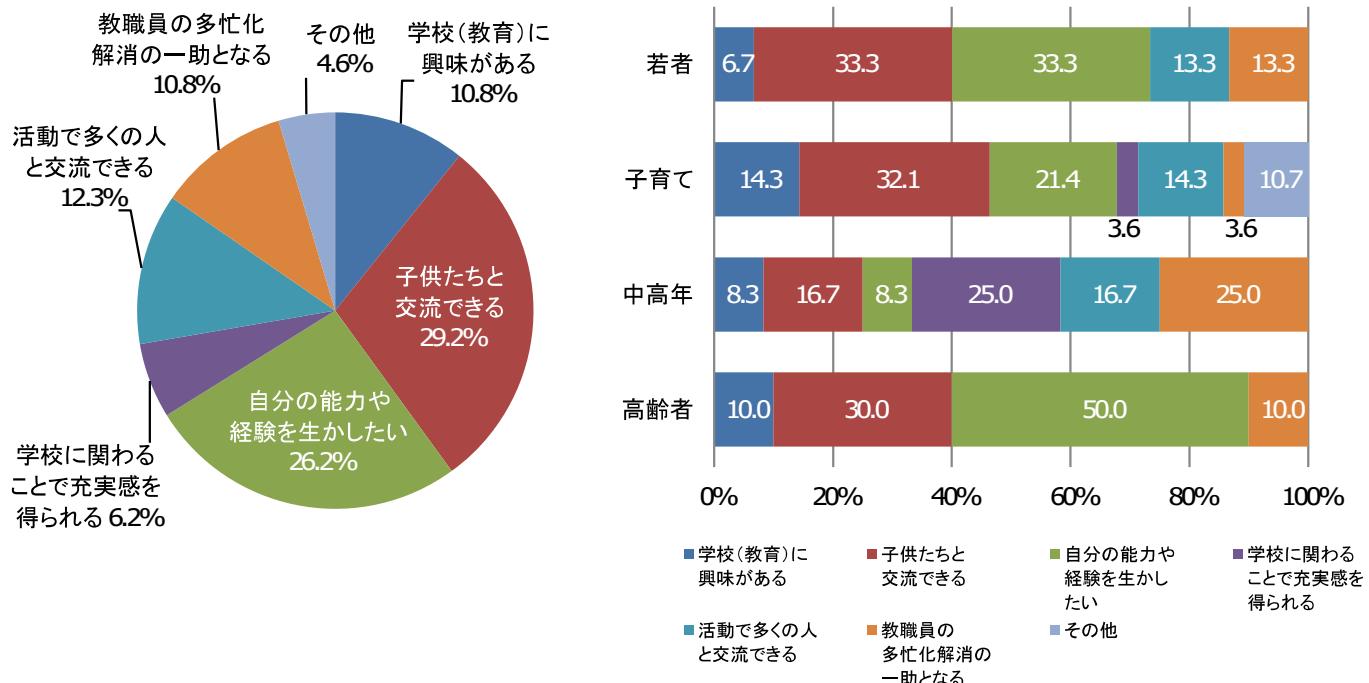
- 地域の学校に協力してみたいことについては、「ある または既に協力している」が約3割となっています。
- 世代別にみると、若者・中高年・高齢者の約3割、子育ての約4割が「ある または既に協力している」と回答しています。

■問6 地域の学校に協力してみたい(協力している)こと (n=65 複数回答) (問5で「1 ある または 既に協力している」と回答した方)



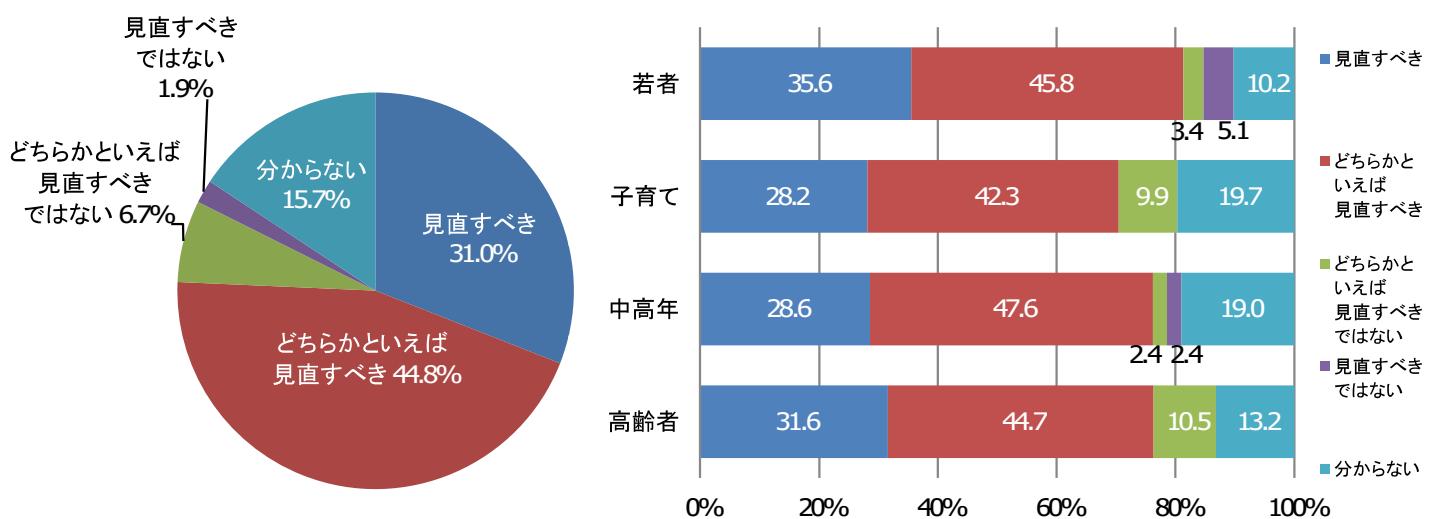
- 地域の学校に協力してみたい(協力している)ことについては、「自分が得意とする知識・技能を伝える」が約4割と最も多い回答となっています。
- 世代別にみると、若者・子育て・高齢者では「自分が得意とする知識・技能を伝える」が、中高年では「通学路における登下校の見守り活動」、「花壇の手入れやプール清掃などの環境整備」と「読み聞かせや図書の整理」が最も多い回答となっています。

■問7 地域の学校に協力してみたい(協力している)理由 (n=65) (問5で「1 ある または 既に協力している」と回答した方)



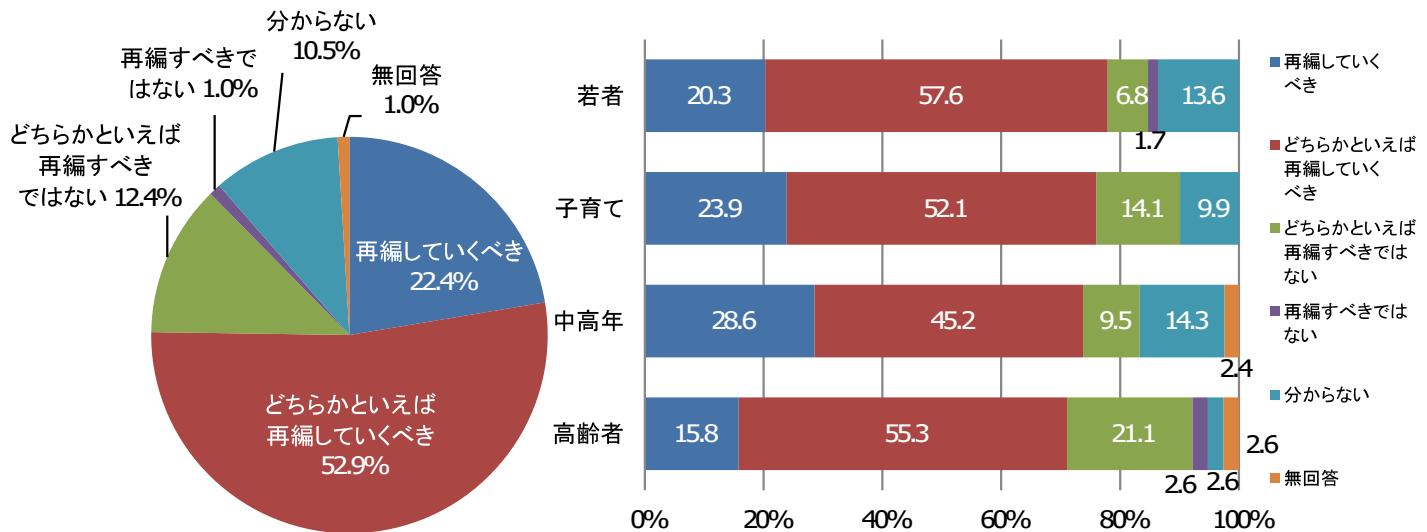
- 地域の学校に協力してみたい(協力している)理由については、「子供たちと交流できる」が約3割と最も多い回答となっています。
- 世代別にみると、若者・子育てでは「子供たちと交流できる」が、中高年では「学校に関わることで充実感を得られる」が、高齢者では「自分の能力や経験を生かしたい」が最も多い回答となっています(若者では「自分の能力や経験を生かしたい」、中高年では「教職員の多忙化解消の一助となる」も同率)。

■問8 中学校の制服の見直しについて (n=210)



- 中学校の制服の見直しについては、『見直すべきである』(「見直すべき」と「どちらかといえば見直すべき」の合計)が約8割となっています。
- 世代別にみると、若者・中高年・高齢者の約8割、子育ての約7割が『見直すべきである』と回答しています。

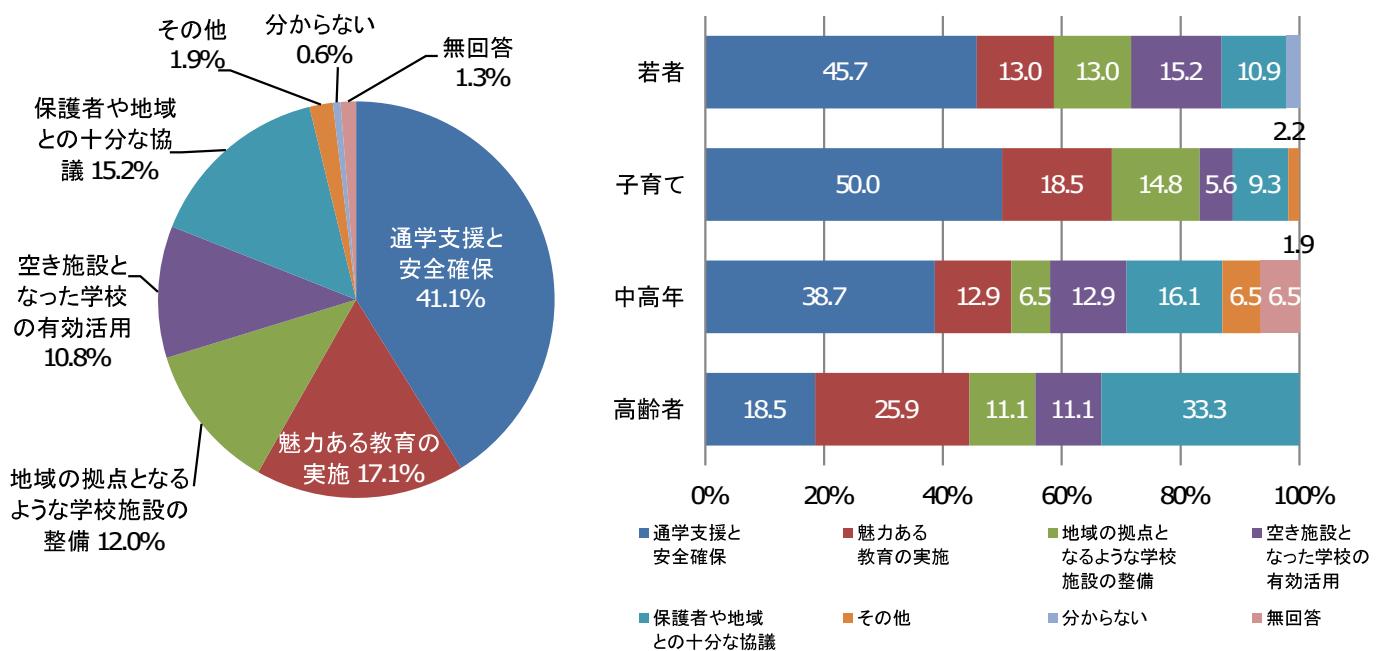
■問9 学校再編(統合)をどう思うか (n=210)



- 学校再編(統合)をどう思うかについては、『再編していくべきである』(「再編していくべき」と「どちらかといえば再編していくべき」の合計)が約8割となっています。
- 世代別にみると、世代が若くなるにつれて『再編していくべきである』の回答割合が高くなっています。

■問10 学校再編の際に配慮すべき点 (n=158)

(問9で「1 再編していくべき」「2 どちらかといえば再編していくべき」と回答した方)



- 学校再編の際に配慮すべき点については、「通学支援と安全確保」が約4割と最も多い回答となっています。
- 世代別にみると、若者・子育て・中高年では「通学支援と安全確保」が、高齢者では「保護者や地域との十分な協議」が最も多い回答となっています。